

## 「野村日本国債プラス」

### 第21期(2012年7月9日)決算の分配金と 基準価額の推移および運用経過について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村日本国債プラス」(以下、ファンド)の第21期(2012年7月9日)決算の分配金と設定来(2010年8月26日以降)の基準価額の推移および運用経過について、ご報告させていただきます。

#### 1. 分配金について

**分配金:20円** (1万口当たり、課税前)

分配金実績(直近1年) (1万口当たり、課税前) 単位:円 ※設定日は2010年8月26日

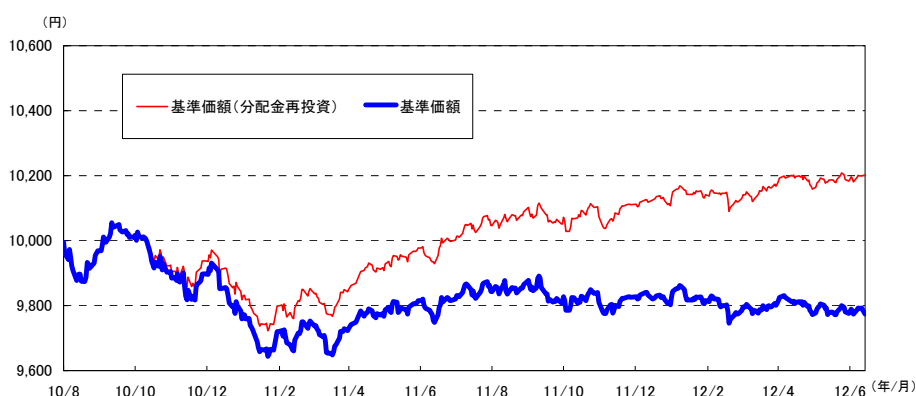
決算(年/月)	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	設定※来累計
分配金額	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	420

分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

#### 2. 設定来の基準価額の推移

ファンドの基準価額は、2012年7月9日時点で9,774円となりました。また、基準価額(分配金再投資)の設定来の騰落率は+2.0%となりました。

設定来の基準価額の推移 (期間:2010年8月26日(設定日)~2012年7月9日、日次)



※基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額です。したがって、実際のファンドは課税条件等によって受益者ごとに価額は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

#### 【ご参考】

設定来の収益率(2012年6月末時点)  
(2010年8月26日~2012年6月29日)

ラダー型運用部分	1.32%
ラダー型運用以外の部分	0.38%

※上記は年率換算値です。  
※上記の他「その他信託報酬等」-0.75%(年率)が掛かっています。  
※換金時の費用、税金等は考慮していません。  
※上記の収益率は月次の基準価格変動の要因分解をベースに累積した概算値であり、分配金再投資等を考慮していないため、設定来の基準価額騰落率とは一致しません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

### 3. 運用経過

#### ○ラダー型運用部分

ラダー型ポートフォリオを維持した結果、投資対象とする年限の日本国債の利回りが概ね横ばいとなる中、利息収入がプラスに寄与(設定来(2010年8月26日以降))しました。

#### ○ラダー型運用以外の部分

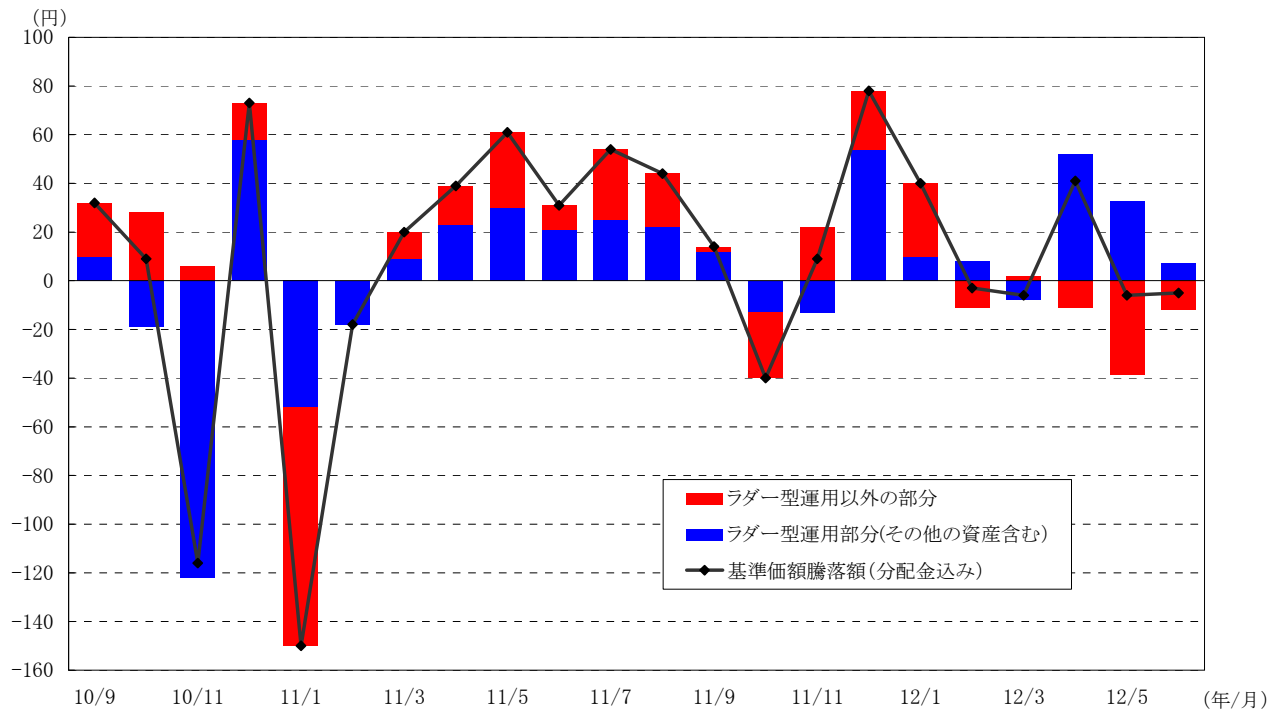
債券は、2011年後半以降、米国経済が住宅・雇用市場の回復の遅れから低迷するとの見直しに加え、欧州の債務問題及び欧州景気の減速が米国経済に悪影響を与えることを念頭に、米国債とドイツ国債をロング(買い持ち)としました。2012年3月に入り、ドイツ国債のロングは解消し、以降は米国債の小幅ロングとしています。一方、日本は、復興需要により目先の日本経済が押し上げられることから、極めて低い水準からは利回りが上昇する可能性が高まったと判断して、日本国債についてはショート(売り持ち)としています。通貨は、2011年9月以降は欧州の債務懸念によって当面リスク回避的な動きが強まると考え、米ドルをロング、ユーロと豪ドルをショートとしました。しかし、12月に、ECB(欧州中央銀行)やFRB(米連邦準備制度理事会)の資金供給により市場の混乱が和らぐことで米ドルが下落することを想定し、米ドルをショートに転じ、円や加ドル、ユーロをロングとしました。2012年1月以降も同様の方針を継続しておりますが、足元ではギリシャの再選挙結果に対する不透明感が強いことからユーロのロングを小幅にとどめて加ドルをロングの中心とするなど、通貨ごとのロングの度合いは機動的に調整しています。

パフォーマンスは、ラダー型運用以外の部分で+66円(概算、設定来)となりました。2011年9月以降、米国債利回りが低下する局面で米国債をロングとしていたことや、債務問題によってリスク回避的な動きが強まる局面で米ドルをロングに、ユーロや豪ドルをショートにしていたことなどが寄与しました。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

○基準価額変動の要因分解(概算)

(期間:2010年9月～2012年6月、月次)



単位:円 (年/月)

要因項目	10/9	10/10	10/11	10/12	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8
基準価額騰落額(分配金込み)	32	9	-116	73	-150	-18	20	39	61	31	54	44
ラダー型運用部分(その他の資産含む)	10	-19	-122	58	-52	-18	9	23	30	21	25	22
ラダー型運用以外の部分	22	28	6	15	-98	0	11	16	31	10	29	22

要因項目	11/9	11/10	11/11	11/12	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6
基準価額騰落額(分配金込み)	14	-40	9	78	40	-3	-6	41	-6	-5
ラダー型運用部分(その他の資産含む)	12	-13	-13	54	10	8	-8	52	33	7
ラダー型運用以外の部分	2	-27	22	24	30	-11	2	-11	-39	-12

- ※ ラダー型運用とは、残存期間を分け、各期間ごとの債券への投資金額がほぼ同額程度となるように投資する運用をいいます。
- ※ 基準価額変動の要因分解は、一定の仮定のもとに委託会社が試算したものであり、基準価額騰落額の要因を円貨にて表示しております。また、信託報酬はラダー型運用部分から控除されています。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

引き続き、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。

## [ファンドの特色]

- 安定した収益の確保を目指すとともに、信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。
- わが国の国債を主要投資対象とし、日本を含む世界各国の債券先物取引および外国為替予約取引等を主要取引対象とします。
- わが国の国債への投資にあたっては、原則として、国債を、残存期間が0～3年程度の国債、3～6年程度の国債、6～9年程度の国債、9～12年程度の国債、12～15年程度の国債の5ブロックに分け、各ブロックへの投資金額がほぼ同額程度となるように投資を行ないます。
- 国債の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- 債券先物取引および外国為替予約取引等の活用にあたっては、日本を含む世界各国(先進国を中心としますが、それに限りません。)の金利および為替のロング・ポジション(買いポジション)とショート・ポジション(売りポジション)を構築し、付加価値の獲得を目指します。
- 債券先物取引等を活用するにあたって必要となる証拠金の額は、原則として、信託財産の純資産総額の5%以内となるように調整します。
- 運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎月7日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## [投資リスク]

ファンドは、債券等を主要投資対象としますので、債券価格の変動等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。また、世界各国の債券先物取引を主要取引対象としますので、債券価格の変動等を受け、基準価額が下落することがあります。加えて、外国為替予約取引等を主要取引対象としますので為替変動の影響を受け、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## 【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(平成22年8月26日設定)
- 決算日および収益分配 年12回の決算時(原則、毎月7日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記のいずれかの場合には、原則、ご購入、ご換金のお申込みができません。  
・申込日当日が、英国のクリスマスデーに伴う休日(振替休日を含む)またはボクシングデーに伴う休日(振替休日を含む)と同日の場合  
・申込日当日が、イースター(復活祭)の直前の金曜日(グッドフライデー)またはイースター直後の月曜日(イースターマンデー)と同日の場合  
・申込日の翌営業日が、英国のクリスマスデーに伴う休日(振替休日を含む)と同日の場合
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

## 【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

## 【当ファンドに係る費用】

(2012年7月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に1.575%(税抜1.5%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.7665%～年1.0815%(税抜年0.73%～年1.03%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上乗額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

- ◆設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものとあり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。